

日本伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラム平成26年度第2回例会

「京都水族館 見学 ―温熱管理・人工海水製造システム―」
のご報告

日時：平成26年12月11日 木曜日 14:00～17:00

会場：京都水族館（〒600-8835 京都市下京区観喜寺町35-1）

伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラムは平成26年度第2回例会を開催いたしました。今回は京都水族館（オリックス不動産株式会社）と大成建設株式会社のご好意で京都水族館を見学しました。見学会では展示施設と裏の機械室をそれぞれ見学いたしました。イルカスタジアムにて開会と概要説明を頂いた後に、2班に分かれて山紫水明ゾーン、京の川、かいじゅうゾーン、水処理2施設、大水槽、ペンギンゾーン、大水槽3階と屋外の機械室、海洋ゾーンを見学しました。最後には、イルカスタジアムにてイルカが練習しているのを臨みながら30分以上質疑応答を行いました。日本初で唯一の人工海水システムにより海洋生物を飼育し、また京都という建設基準が厳しい地域にて設立された本施設では、海水の生成、水濾過、温熱管理において高い技術と工夫が随所で使われています。特に濾過システムには泡沫分離装置と生物濾過装置を活用して高い効率と省スペースを実現しています。温熱管理としては、空冷ヒートポンプ式氷蓄熱ユニット327kW×1台と空冷ヒートポンプモジュールチラー95kW×12台を使って温熱制御を行い、水槽には断熱と蓄熱技術を取り入れています。

見学ルートの関係から参加人数を限定し、22名（定員20名）の出席がありました。見学会終了後、京都駅近辺で意見交換会が行われ12名のご出席者により意見交換がなされました。



*機械室の写真撮影は禁止されているため掲載していません。



集合写真（イルカスタジアムにて、イルカと東寺と新幹線が同時に観覧できます。）